

浜松いわた信用金庫におけるカーボンニュートラルへの取組事例



浜松いわた信金の現況



概況 (2023.3末現在)

あなたの夢に、追い風を。

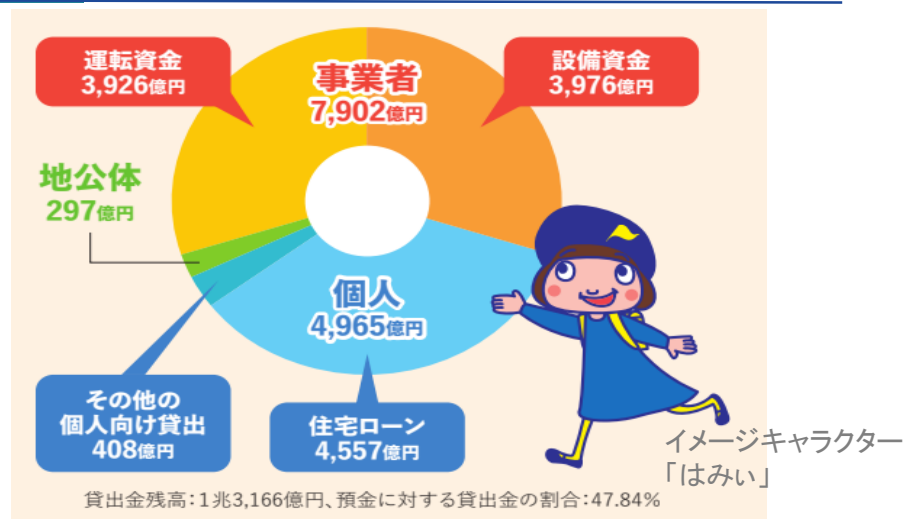


浜松いわた信用金庫

■営業地域	: 静岡県西部及び愛知県東部
■創立	: 1950(昭和 25) 年
■預金残高	: 2兆7,522億円
■貸金残高	: 1兆3,166億円
■店舗数	: 87店舗
■役職員数	: 1,677名(グループ1,757名)
■自己資本比率	: 13.68%



貸出金の状況 (2023.3末現在)



主な営業地域



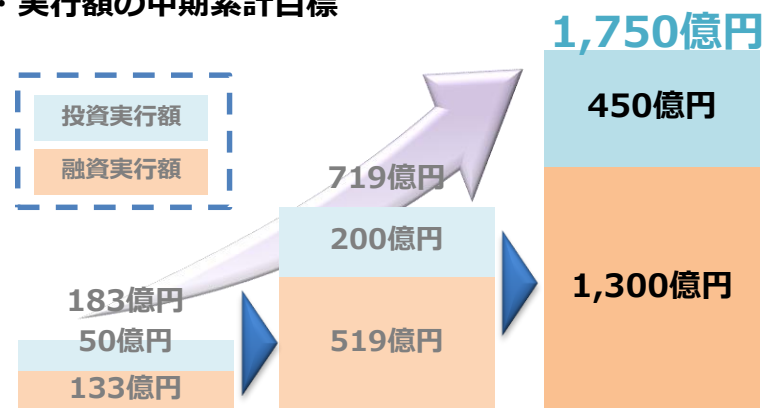
- ・東京から大阪のほぼ中間地点に位置する
- ・交通の便は良好(東名高速道路、東海道新幹線)
- ・人口は、浜松市が78.9万人、磐田市が16.6万人
- ・主要産業としては、輸送用機器製造(スズキ株)、ヤマハ発動機株、本田技研工業株の創業地) 楽器製造(ヤマハ株、株河合楽器製作所、ローランド株)等が有名である

浜松いわた信金の取組事例 | 環境への配慮

- 2019年1月にSDG s 行動宣言を制定し、SDG s への貢献を経営の根幹に据えて、お客さま、地域の皆さまの持続的な発展に取り組んでいる
- 2022年9月には、**TCFD提言への賛同を表明**し、気候変動リスク、機会に関する情報開示を充実させていく

サステナブルファイナンスの取組みを推進

・ 実行額の中期累計目標



エネルギー使用量の削減

- ・ 2013年度のCO2排出量を基準として、2030年度までに46%の削減を目指す。



再生可能エネルギーの調達

- ・ 新本店営業部において使用する電力を、再生可能エネルギーを利用した電力で調達し、実質的なCO2排出量の削減に努める。



ガソリン使用量の削減

- ・ 2030年度までに、電気自動車や電動バイクの導入を進め、CO2排出量を低減を目指す。



浜松いわた信金の取組事例 | CO2排出量算出クラウドサービス一覧

- 取引先がCO2排出量を把握するために、見える化として、以下 4 種をラインアップし、取引先のニーズに応じたCO2排出量算出クラウドサービスを提案している

商品名	e-dash	ゼロボード	Eco Ni Pass	しずおかGXサポート
提供事業者	e-dash(株)	(株)ゼロボード	鈴与商事(株)	(株)日立製作所
CO2算定範囲	・Scope1～3 (原単位)	・Scope1～3 (製品別、サービス別、 原単位のCO2排出量)	・Scope1～3	・Scope1～2
データ入力	・データ入力不要 (スキャン)	・データ入力不要	・専用フォーマットに 入力しスキャン	・データ入力必要
機能	・レポート作成 ・エネルギー使用量、コスト管理、原単位管理 ・CO2排出量目標設定 ・CO2削減策の提案	・国際的な開示形式や 国内外の各種環境法令の報告形式での出力 ・CO2排出量の削減管理 ・CO2削減策の提案	・Scope別、エネルギー種別、ユーザー別のCO2排出量を管理 ・CO2削減策の提案	・データをグラフで可視化、目標設定、進捗管理が可能
利用料金	月額10,000円～	月額8,000円～	月額4,800円～	無料
その他	・三井物産(株)100%子会社 ・国内大手監査法人による第三者検証	・国際審査、認証機関がシステムの妥当性を保証済	・ウイングアーク1stとの共同開発 ・第三者認証は受けていない	・GHGプロトコル対応 ・低予算、低機能

浜松いわた信金の取組事例 | サステナブルファイナンス商品一覧

- 取引先のSDGsやESGへの貢献度合いに着目し、その状況を浜松いわた信金または第三者機関が分析するとともに、SDGsやESGに配慮した企業経営が展開される過程を通じて、事業者のサステナビリティに関する戦略やガバナンス体制の整備が進むことで取引先自身の企業価値向上につながる

制度・商品名	SDGs私募債	SDGs支援資金	浜松いわた信用金庫PIF	浜松いわた信用金庫SLL
取扱開始	2021年4月	2022年6月	2023年4月	2023年4月
対象者	・SDGsに取り組む法人	・SDGs宣言書の作成をした事業者	・SDGsまたはESGに関して積極的な取組みをしている中堅・中小企業で、PIF原則を満たせる法人	・SLL原則を満たせる法人
資金使途	資金使途制限なし	資金使途制限なし	資金使途制限なし	資金使途制限なし
融資金額	50M～1,000M	～300M	50M～1,000M	50M～1,000M
適用金利	当金庫所定の利率	当金庫所定の利率	当金庫所定の利率	当金庫所定の利率
返済方法	・満期一括償還 ・定時償還	・元金均等返済 ・期日一括返済	・元金均等返済	・元金均等返済
特徴	・SDGsの普及促進、資金調達の多様化	・SDGs取組評価・宣言支援サービスによるSDGs取組状況の可視化	・PIF金融原則に整合した借入と対象企業活動がESGにもたらすインパクト(ポジティブorネガティブ)を分析・評価 ・設定した目標を継続してモニタリングする ・格付機関の認証を取得	・SLL原則に整合した借入が対象 ・SDGsやESGに関する野心的な目標を設定し、達成状況により適用金利を変動させる

取引先の取組事例 | 脱炭素化について

- 当社では、業界の動向を踏まえ、太陽光発電の設置やグリーン電力の購入を実施。カーボンニュートラル化を達成するとともに、人材獲得の面からも効果を発揮

国本工業株式会社（静岡県浜松市） ーカーボンニュートラル時代を見据えた経営戦略ー

生産性向上



国本工業株式会社

企業概要

事業内容 自動車部品（パイプ加工品）の製造、金型の設計・製作など

設立 1970年 資本金 1,000万円 従業員 71名

経営戦略・狙い

- 世界情勢や自動車業界の動向などにアンテナを高く張り、自動車の電動化に対応した部品開発やカーボンニュートラル対応など、将来を見据えた経営戦略を展開。
- 社員とは定期的にコミュニケーションの機会を設け、当社が直面する課題などを共有。

カーボンニュートラルに貢献する取組

- 工場に太陽光発電を設置するとともに、グリーン電力を購入することで、自社で消費するエネルギーのカーボンニュートラル化を達成。
- 社員による日々の作業効率の改善で、生産性の向上と使用電力の更なる削減を図る。
- 今後は、スコープ3（トラックでの物流、従業員の出勤時など）の排出削減も検討。

経営に与えるインパクト ー企業競争力の向上ー

- 取引先からのCO2削減要請にも柔軟に対応。
- 取引先に対しては、競争力のある価格（自動化等の生産性向上）だけでなく、環境に配慮した製品（カーボンニュートラルで生産）であることも訴求。実際に、環境に配慮しているかどうかが調達の前提になりつつあると実感。

＜工場内に設置された太陽光発電システム＞



- 最近では、環境面に関心を持つ学生が増加傾向。先行的に環境対応を進めることで、新規採用においては、継続的な人材確保につながっている。

ご清聴ありがとうございました

- 本資料は、信用金庫等の関係者を対象に、情報提供のみを目的として作成しています。
- 本資料は、作成日時点における情報に基づいて作成していますが、将来内容が変更されることもあり、本資料上のサービス等の提供等の履行を約束するものではありません。また、本資料に記載の情報によって生じたいかなる損害についても本中金は一切の責任を負いかねます。
- 本資料は、記載された取引の一般的説明を目的とするものであり、具体的な取引の条件を提示するものではありません。
- 本資料は、本中金固有の著作物です。信用金庫等の関係者で利用することのみを目的として作成しており、信用金庫等の関係者以外の第三者に対し開示する権利を信用金庫等の関係者に付与するものではありません。本資料に記載する全ての事項について、本中金の許可なく複製、配布または転用することを禁止します。